



Weekly Report

VOL. 45

本日のプログラム	2 月 20日 (2148 回)	次回のプログラム	2 月 27日
「 感染症について 」	内藤 成敬 会員	「 会員研修, 風害・免震制振 」	松岡秀光 会員

2019年 2月13日(水) 第2例会

～体操～

1. ソング 「 村のかじや 」

2. ビジター紹介

(森 会員ゲスト) 西村 太志 氏

3. 出席報告

会員数 47名 出席数 40名
出席率 88.89% 前々回補正 93.33%

【本日の欠席】

萬寿・松岡・光川・森・田中(俊)・吉田・兼重
各会員

【補填】1/30

的場・中西・山中 各会員

4. 会 食

5. 会長の時間

..... ロータリーソング

今日はロータリーソングの話をお話します。我がクラブでも第一例会では「国歌斉唱」と「奉仕の理想」、それ以外の例会では、例会運営委員会が選択した慣れ親しんだ「国民唱歌」等を伝統的に全員で合唱しております。しかし「ソングを歌う」事は、国際ロータリーの標準定款にも謳われておりません。また我がクラブの標準定款・細則にも謳われておりません。

それでは、ソングは何時・誰が・どこで・何のために始めたのでしょうか、その歴史は、ロータリークラブが設立された時代に遡るようです。

1905年に設立された2年後、親睦と奉仕を目的としてクラブが拡大し始めた頃、「親睦派」と「奉仕派」の意見

対立でクラブ内雰囲気はギクシャクしてきたことで、ハリ－ラグレスが会員同士の雰囲気を和らげる為に、当時の流行歌を歌い、団らんを取り戻したというのが始まりだとされています。

このことで例会での歌の合唱が伝統となり、1920年我が国初の東京RCにもその習慣が引き継がれましたが、初めて謳われたのは1927年インターシティーミーティングの時で、漸くその習慣が親睦の源になるとの理解が深まり、1930年神戸の第70地区大会で、RI 会長代理の「クラブは世界のロータリーであって各国のクラブはそれぞれの風俗習慣によることを希望する」というメッセージから当初は、英語のまま謳っていたようですが、日本語によるソングへの期待も高まり、1935年の京都・地区年次大会において日本語によるソングの入選作が発表されました。

発表された歌は、図に示すように、1位から「旅は道ずれ」、「奉仕の理想」、「平和を人の世に植え」、「我らの生業」という順位でしたが、1位は作曲の一部で盗作があったということで失格になり、2位の「奉仕の理想」が繰り上がったという経緯があります。

ここで又一つ問題が起こりました。当時のガバナーは愛国心の強い著名な国粋主義者でありましたので、「世界に捧



げん」という歌詞を「御国に捧げん」と替えなければ当選無効という通達を出されたそうです。

作詞者の方は、後年「もし出来ることなら何時の日か、世界に捧げんという原詩に戻していただければ、と回顧されておられたようです。

このようにして生まれたソング「奉仕の理想」は、今日日本のロータリーの基本ソングとして定着しました。

1935年のソング決定後、日本のロータリーも拡大を続け、やがて1952年日本のロータリーが2つの地区に分れるという状況の下で、「これからは友情を確かめ合い、手に手をつないでいこう」という誓いで「手に手つないで」というソングが生まれました。そして翌年「それでこそロータリー」という軽快なリズムのソングも生まれました。

一方国歌斉唱については、米国でも例会時よく斉唱されるようですが、日本とは少し違った意味があるようです。米国はご存じの通り多民族国家ですので、一堂に集まったところでの「団結」・「結束」を高めるという意味合いが強いようですが、我が国では第二次大戦が始まる前、軍閥による圧力で、当時の京都RCでは「ロータリーは米国のスパイではない」証として、日の丸を掲揚し、且つ例会で「君が代」を斉唱することで存続が認められ、今日の慣習となっているようです。

このようにソングの歴史を見るだけでも、「親睦」と「奉仕」を旗印として、拡大・存続・成長を遂げてきた日本のロータリーに対する先賢の大変な努力を忍ぶことが出来るようです。

この原稿は、福島RC・丹羽正博氏、宇部RC・会長卓話を参考にさせていただきました。ありがとうございます。

6. 幹事報告

- 1) 尼崎中RCより「第16回元気の出る落語会」開催の案内
4月14日(日)午後2時~4時
中小企業センターにて 高齢者対象の落語会を開催
お知り合いの方への案内依頼
申込書&当日のプログラムお持ち帰り下さい。
- 2) 地区大会 登録のお願い
追加登録受付 2月20日(水)まで
- 3) マイロータリーの登録指導、今週・来週の例会終了後

同好会

囲碁同好会 来週開催

7. 委員会報告

- ・新会員歓迎会の案内(磯田親睦活動委員長)
3月6日(水)午後6時よりヴィスキオにて
会費¥8,000-
出欠は 回覧 にて

8. SAA報告



- *本日スピーチです。つたないお話ではありますが
お付き合いください。よろしくお祈いします。
..... 近
- *当ホテルの名前“ヴィスキオ”が“宿り木”という
意味でイタリア語だという事をさっき初めて知りました。
..... 田野島
- * 「歌留多読む少し慣れれば節つけて」
「太鼓打つ撥振る禰宜に淑氣満つ」
「初場所の煌めく緞子揃い踏み」
「初場所や小兵力士の面構え」
..... 田村
- * 近会員、本日スピーチよろしくお祈いします。
..... 藤井(秀)・藤井(輝)・浜田・
平野・勇・石本・磯田・川口・
小坂・久保・的場・松本・森本・
中井・中西・中田・西川・小畑・
齊藤・三田・杉浦・武部・滝口・
田中(正)・辻井・渡部・山中・
安田

本日の金額	31,000円
累計	1,461,125円

10. スピーチ



「モンゴルマラソンと私」 近 知史 会員

2018~2019年度 第8回 (2月度) 理事会議事録

開催日時 2019年2月6日(水)PM1:40~PM3:00

会場 ホテルヴィスキオ尼崎 2F セーヌ

出席者: 西川・森本・藤井(輝)・小坂・浜田・田中(正)・
安藤・小野・磯田・勇

欠席者: 中西

記録作成者: 三田

「報告事項」

1. 奉仕プロジェクト委員会 会計報告

①社会奉仕賞 → 別紙通り

②年賀はがきコンテスト

年賀はがきコンテスト表彰者代表校長の出席は
2月27日(水)

2. 「協議・審議事項」

1) 寄付金の取り扱い&対外クラブ交際費の件

(別紙資料有り)

→2月中に意見を提出して頂く (勇幹事)

3月の理事会で意見の報告をし、4月の理事会で決定する。

2) 新入会員歓迎会の件

→3月6日(水) 18時~

(ファミリーング 16時30分~17時30分)

3) マイロータリー登録について

→2月の第3例会終了後、未登録者に対して、登録サ
ポートを行う。

未登録者を割振り、各理事が指導を行う。

その他

1) 吉田義治会員の件

→ 現況の報告がありました。

2) 西村太志 氏の入会手続きの件

→ 従来とおりとす。

3) 長期計画会議への諮問事項について

意見交換を行った。

以 上

2月も早、後半に入りました。2月はアジアの多くの国は「春節」で関西もインバウンドで家族連れや若者で大きな荷物を持った人達で賑わっています。

政府観光局は2018年の訪日外国人は3119万人だった。と発表され、その内85%がアジアからで、今は違和感が薄れ日常になった感があります。

ちなみに春節の日は毎年変わり、中国では2019年は2月5日から1週間で、2020年は1月25日からになっているとの事ですが、国によってその日は違い、中国では前年12月になると国务院からその日が発表されることになっている。

ただ、地方出身の労働者は多くが故郷に帰るため、2週間から1か月の休みを取り、その間、工場の多くは仕事が止まってしまうらしい。

2月のロータリーは「平和と紛争予防・紛争解決月間」となっています。

かつて歴史上、紛争の無かった日は無い。といわれていますが、先日、アメリカではトランプ大統領が隣国メキシコとの国境に不法移民対策の壁を建設するために非常事態宣言を発しました。

またEUでは難民問題で各国の足並みが乱れて不協和音が出ており、今後EUの結末がどうなるか先行き不透明感が経済にも影響を及ぼして来ています。

ロータリーの友2月号に「難民を知る」が特集となっています。海洋国家の我々には今までは関心の薄いテーマでしたが、どうぞご確認ください。



P7~P11 掲載

